

いよいよ、年の瀬。一年を振り返り、お世話になった方々への感謝の心、ご先祖への感謝の心を持って、新しい年を迎えたいものです。お正月に神(年神)お正月様をお迎えする齋場である家を浄めるため、一年の塵を払い、大掃除をしました。家族みんなで協力し合い、楽しく行き届いたお掃除をしましょう。

【大晦日】十二月三十一日(大祓)

生活の中で気がつかないうちにおかした罪や過ち、心身のけがれをはらう「大はらい」が全国の神社で行われます。百人つの除夜の鐘は、人が持っている百人個の煩惱を取り払う意味が込められています。大祓というのは、紙で作った人形に名前を書いて息をふきかけたり体を撫でたりしたものを神様の前にお供えてお祓いをする儀式で、今から千七百年程前の仲哀天皇が崩御なさった時、国として大祓を行ったのが最初で、それ以後ずっと宮中や民間の間で年中行事となりました。

日本においては、人間の本性は、完全に円満な美しい魂をもった日子・



日女(天照大御神の子)であるから、上についたほこりならば、はらったらとれて、本来の姿に帰る、と考えられていました。日本人は祓うべきものは、諸々の罪と穢れという二点にしばっています。罪とは、「本来神の子の本当の姿をつみ隠していること」。穢れとは、「気枯れ」とも書かれるように気が枯れること。包みをほどこき、気枯れをほらうとは、生き生きと明るく朗らかに、神の子の陽気いっぱい生きることであります。

【お正月】

正月を機会に太陽のような明るい心を

正月に祭られる年神(正月様)は、正月が近づくと高い所から里へ降りてきて、人々に幸福をもたらしてくれる神で、門松やしめ縄や床の間の三寶の飾りを目印に降臨され、依代(神体)とされるそうです。



しめ縄の意味は？あれは古代、太陽の神様(天照大御神)が天之岩戸におかくれになったときに、天之宇受女命という神様が愉快にダンスをされたのです。あまりに愉快にダンスするので、多勢の神様も愉快に笑われました。あまり多勢が愉快に笑われますので、太陽の神様も、うれしくなつて天之岩戸にかくれていることができなくなつて、岩の戸を細目に開いておのぞきになりますと、手力男命という手の力の強い神様が、太陽の神様の手をギュッと握つて天之岩戸から引き出されますと、太陽があらわれて世界が一遍に明るくなりました。それで太陽の神様に、もう二度と天之岩戸の中へかくれてしまわれぬようにお願いして、岩戸の入口に尻くめ縄というのを張りわたして、太陽の神が岩戸へ入れないようにしたので、その尻くめ縄が、今ではしめ縄になっています。

正月に嬉しい太陽のような明るい気持ちになったら、それからは二度と、その太陽のような明るい気持ちで岩戸の中へ入れないように、しめ縄を張つて心に誓うためなのです。

元旦は昔から四方拝の日です。天地四方のすべてのもの―空気も水も日光も、全ての鉱物も植物も動物も、みんな神様のお恵みの現れなので、天地四方のすべてのものに感謝して、明るいさわやかな気持ちで一年を出発しましょうね。

ワンポイントアドバイス
『子供はみんな
すばらしい才能をもっています』

絵の指導は、自分の心のままに自由に表現出来る場と雰囲気をつくつてやることです。

作品を仕上げることに目的はおかないことです。わけのわからぬ線をぬたくつてるのをみて、まだ絵にならないとか、紙や絵の具がムダだとは考えないで下さい。いやむしろ、幼児の時代に充分このぬたくりをさせて下さい。すくなくとも三、四最から、絵の具と紙は与えてください。一見無意識のでたらめに見えてもそれでよいのです。そして決して表現の方法を教えるはいけません。表現は一切子供にまかせるのです。私達の立場は、子供の理解者であり、創造性を刺激するために、子供の話聞くことであり、いかに子供は子供なりに工夫して表現しているかを教えてもらつてその独創に尊敬の念をいまくことです。

子供は、生き生きとして物事に熱中出来るようになり、いろいろな問題を解決する積極的な明るい人間性を身につける事でしょう。

子供は、みんなすばらしい才能をもっています。ですから、子供の生命がそのままあらわれるようにするためには、良い絵は自分の好きなようにかいたものが良いのだと思うように指導していくことにより、子供の生活を豊かにし、抑圧から解放させ、美しい空想や夢を誘い出すものでありたいと思います。(「生命学園指導の手引」より)

和歌コーナー

どんぐりを ようちえんでひろったよ

いっばいあつたよ くりもあつたよ

年中 K・Y



☆ひろったどんぐりやくりを、寺子屋に持ってき
てくれてありがとう。

ようちえんで だんごむし ひろったよ

たのしかったよ ばけつにいられたよ

年中 N・Y



☆だんごむしをバケツに入れてあそんだのね。い
っぱい見つかってうれしかったですね。

作品でんでシーサー作った ざらざらの

ちやいろのねんどで むずかしかった

三年 N・E



☆シーサーを土粘土で作ったんですね。すごい！

北風とみかんの季節 やってきた

かきゆずみかん みな秋の色

六年 Y・Y



☆かき、ゆず、みかん・・・日本の秋の色は豊かです。



あかちゃんのなまえはめいちゃん
かわいいよ ひなのかおみて わらってるよ
きのうから しゅうじかくの たのしみだった

「かね」ってかいたよ うれしかったよ

年少 I・H

☆ひなちゃんの顔を見て、めいちゃんはうれしく
てわらうのね。やさしいおねえちゃんですね。

てらこやで うたうたうのが たのしかった

ふじさんのうた おしよがつのうた

てらこやに かあさんときた じてんしゃの

うしろにのって たのしくきたよ

えんぴつのしんがおれたよ

でもかける ちいさなしんで かみにかいたよ

年少 M・S



☆はじめての寺子屋で、すなおな気持ちで和歌が
できました。すばらしいです。

おつきさま まるかったよ

おうちでみたよ みんなでみたよ

てらこやへ でんしゃにのって のりかえたよ

おてっだいたした いっぱいできた

年中 K・Y



☆お手伝いをいっばいしてくれて、ありがとう。

あこうぎし だれとあうかな おともだち

あえるといいな たのしみだ

小学三年 Y・S

☆赤穂義士のお祭りに行くのは楽しみですね。

いろいろな ぎょうれつあるよ あこうぎし

おまつりたのしみ みんなでいくよ

小学五年 Y・S

☆赤穂義士のお祭りの行列、見てみたいです。

声に出してひびきを味わおう

今月の言葉

万葉集 第三・三二八

やまへのあかひと

山部赤人

たご

田児の浦ゆ

うち出でて見れば

真白にぞ

ふじ

不尽の高嶺に

雪はふりける

(大意)

田子の浦をようやく通り抜けて、にわ
かに開けた平野部に出てみると、真白
に富士の高嶺は雪をいただいていた。

「万葉の世界と精神」より

次回一月二十五日(土)四階四〇二室で午前中まで。

(十一時四十分終了予定です。お昼は、ご自宅か、
公民館ロビーで食べて下さいませ。)

◎どうぞ、良いお年をお迎え下さい♪

(藤波礼子)